

最優秀賞

「交流と定住を目指す花のフェスティバル ーやんばる風景花街道ー」

高嶺 晃(NPO法人 やんばる花街道観光協会 理事)

1. はじめに

沖縄県名護市以北の58号、国道331号及び県道70号線等の道路沿いには地域固有の歴史的・文化的資源が点在するとともに、やんばるの森を背景に地域固有の自然資源が豊富です。また、道路沿線は太平洋、東シナ海に面しエメラルドグリーン的大海、海岸線が織りなす景観や自然公園などもあり、美しい自然景観に恵まれた地域でもあります。

2011年に沖縄県では3例目となる日本風景街道(やんばる風景花街道)に名護市、大宜味村、国頭村、東村を含むやんばるエリアが認定されたことをきっかけに、名護市東海岸の久志地域では区長をはじめ、地域の住民が主体となり、喫緊の課題である少子高齢化・過疎化を解決するひとつの手段として、やんばる地域固有の自然資源、歴史的・文化的資源に磨きをかけ、通過するだけの「みち」ではなく、「沖縄の花と美」が体感できるあらたな観光イベントとして、2013年より花をメインとした地域博覧会「フラワーフェスティバル」が開催されることになりました。



2. 名護市久志地域(東海岸)の現況

1) 人口について(平成29年3月31日時点)

人口:4,301名 高齢化率:26% 久志・豊原・辺野古を除く二見以北の高齢化率:34%

久志地域全体の高齢化率は全国平均(2017年10月時点)の約28%と比べて高くありませんが、空き家も増えてきており、人口の少ない二見以北と言われる地域の平均は約34%で、40%を超える集落が4つもあります。人口の減少に伴い小学校の統廃合が行われ、かつては二見以北地域で4つの小学校がありました。現在は小中一貫校一つにまとめられました。

2) 地域資源について

(1) 自然資源

- ・国指定の天然記念物 嘉陽層の褶曲 (3~4000万年前の地層がプレートの沈み込みによって折りたたまれたもの)
- ・ウミガメの産卵が行われる天然の砂浜
- ・推定数千年生きていとされる縄文アオサンゴ
- ・名護市指定の天然記念物 大浦のマングローブ
- ・各区に点在する樹齢200年を超えるガジュマル

(2) 歴史・文化的資源

- ・各区の豊年祭、大綱引き、棒術、御願行事
- ・美ら島自然学校(ウミガメの飼育施設)
- ・久志の観音堂、金丸の泉、ハル石などの歴史的建造物
- ・二見情話、汀間当などの民謡(歌碑)

(3) 産業など

- ・ウコン、カボチャ、サトウキビの拠点産地
- ・我那覇畜産のアグー豚、アグー交配豚の生産(養豚業)
- ・リゾートホテル、自然体験事業などの観光業
- ・交流拠点施設(わんさか大浦パーク)



3. フラワーフェスティバルの実施主体・組織について

- 【実行委員】 名護市久志支部区長会(全13区・名護東海岸)、わんさか大浦パーク
名護市役所(久志支所)
- 【運営委員】 NPO法人 やんばる花街道観光協会、国際海洋環境情報センター
NPO法人 ツール・ド・沖縄協会、株式会社カヌチャベイリゾート
名護市学童野球監督会、デイサービス 二見の里、久志地域交流推進協議会
- 【協力団体】 一般財団法人 沖縄美ら島財団、花の里づくりの会

地域主体で始まったイベントでしたが、今では地域内外の協力体制が広がってきています。

4. イベントでの取組など

1) 花に関わるプログラム

- (1) オープンガーデン
毎年20軒程のお宅が解放され、来場者は個性豊かなお庭とガーデンオーナーさんとの交流を楽しんでいます。
- (2) 沿道の緑化と環境整備
各区区長さんの働きもあり、イベントが浸透していくにつれて、多くの人々が訪れ、見られるようになり、集落をもっときれいに維持したいという意識が地域の方に芽生え、環境美化に対する意識が年々上がってきています。
- (3) 地域内リゾートホテルの連動イベント
フラワーフェスティバル期間中、地域内のホテルでも連動イベントとして、ブーゲンビリアの温室で行うヨガなど、花をテーマにしたプログラムが各種実施されています。



2) 地域の資源を活用したプログラム

- (1) 自然体験
- ・カヤック、マングローブ散策(わんさか大浦パーク)
 - ・SUP(kai)
 - ・グラスボート(じゅごんの里)
 - ・サイクリング(ツール・ド・おきなわ)
 - ・トレッキング(久志地域交流推進協議会)
- (2) 文化・歴史体験
- ・すすきのほうきづくり(久志地域交流推進協議会)
 - ・サンゴの学習会(じゅごんの里)
 - ・ヘルシー料理教室(個人)
 - ・絵画教室(個人)
 - ・海の工作教室(GODAC)
 - ・紅型染め体験(藤崎紅型工房)
- (3) 産業振興に関わるイベント
- ・やんばるカレー【嘉例】祭(地域食材を使ったカレーグランプリ)
来場者約1,000名 出店者のほぼすべてが完売
 - ・各区の野菜即売会 例年人気ですぐに完売
 - ・地元産蜂蜜の販売
- (4) 過疎化対策に関わるイベント
- ・婚活イベント(Enmusubi in KanuchaResort)
(定員60名に対し、80名ほどの応募があり、参加者の約半数が地元住民か久志地域の勤務。
当日は9組18人のカップルが誕生)



久志エリアの地域博覧会として、花のイベントを中心に様々な分野の資源を活かした取組が行われています。昨年は、過疎化対策としての婚活イベントや地産地消の促進を目的としたやんばるカレー祭を開催するなど、次々と地域活性化を目的とするイベントが立ち上がり、地域が新たな挑戦をする良い機会となっております。

